

# 方 法 意 見 書

横浜リ・スタイル(Re-Style)プロジェクト環境影響評価方法書に関する横浜市環境影響評価条例第12条第1項に規定する環境保全上の見地からの意見は、次のとおりである。

横浜市長  
中 田 宏

## 第 1 対象事業

### 1 事業者の氏名及び住所

氏 名：萬世リサイクルシステムズ株式会社  
代表取締役社長 藤枝慎治  
住 所：横浜市金沢区鳥浜町17番地3

### 2 対象事業の名称及び種類

名 称：横浜リ・スタイル(Re-Style)プロジェクト  
種 類：産業廃棄物中間処理施設の新設

### 3 事業実施区域

横浜市金沢区鳥浜町17番地3

## 第 2 審査意見

事業者が作成した環境影響評価方法書について審査した結果、次の事項について留意されたい。

## 1 全般的事項

横浜リ・スタイル(Re-Style)プロジェクト(以下「本事業」という。)は、萬世リサイクルシステムズ株式会社が横浜市金沢区鳥浜町に、建設廃棄物である木くずをチップ化する施設、廃プラスチック類等をRDF化(廃棄物固形燃料化)する施設及びトナーカートリッジ等を分別し資源化するためのリサイクル施設を整備するものである。

本事業の計画位置は特別工業地区内にあるが、周縁部には住宅地も存在しているため、工事の実施、施設の存在及び供用に伴う環境影響が周辺地域にも及ぶ可能性がある。したがって調査及び予測の手法を適切に選定し、環境影響評価を行う必要があるので、以下の事項に留意されたい。

## 2 個別的事項

### (1) 工事中

#### ア 土壌汚染

計画地は工場跡地であることから、旧所有者が行う土壌汚染調査の結果を考慮し、調査、予測、評価を行うこと。

### (2) 供用時

#### ア 大気汚染

チップ製造過程等から粉じんが発生することから、集じん機の設置を計画しているが準備書には粉じんの発生量や集じん機の内容を明らかにすること。

#### イ 振動

振動ふるい機の防振装置の設置を計画しているが、準備書にはその内容を明らかにし、予測評価を行うこと。

#### ウ 悪臭

廃プラスチック類等をRDF化する製造過程で、加熱による臭気の発生が想定されるため、活性炭吸着装置の設置を計画しているが、準備書にはその内容を明らかにし、予測評価を行うこと。

#### エ 低周波音

振動ふるい機から低周波音の発生が想定されるため、工場建屋の壁の補強工事を計画しているが、準備書にはその内容を明らかにし、予測評価を行うこと。